

## シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	これからの介護が目指すべき、その人らしい生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で仕事を行うのかを具体的に理解させるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		<講義内容> ・介護保険サービスの概要 ・介護職の仕事
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<講義内容> ・介護職の仕事の理解
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 113  
 商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社  
介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	ご利用者の「尊厳のある暮らしの保持」、「自立支援」、「介護予防」といった介護の考え方や、介護・福祉サービスを提供する基本的視点及び、やってはいけない行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	4	/	<講義内容> ・人権と尊厳の保持 ・ICF（国際生活機能分類） ・QOL（生活の質） ・ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束の禁止 ・個人の権利を守る制度の概要
② 自立に向けた介護	3	3		<講義内容> ・自立支援 ・介護予防
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<講義内容> ・人権について
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	テキスト及び、DVDの視聴
------------	---------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名		(3) 介護の基本		
指導目標		介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性、社会的責任を理解する。 ご利用者の安全について、介護事故や感染症などを例にとり、リスクマネジメントのあり方と、 予防的対応について理解する。また介護従事者の安全と健康についても考える。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と 多職種との連携	1.5	1.5	/	<講義内容> ・介護環境の理解 ・異なる他職種（専門性）の理解 ・チームケアの重要性
② 介護職の職業倫理	1.5	1.5		<講義内容> ・介護（専門）職の倫理 ・社会的責任
③ 介護における安全の確保 とリスクマネジメント	2	2		<講義内容> ・介護事故に結びつく要因を予測する技術 ・リスクとハザード ・リスクマネジメント (分析・事故の経緯報告・情報の共有) ・感染症の理解（原因・予防・対応）
④ 介護職の安全	1	1		<講義内容> ・介護職員の健康管理（ストレスマネジメント） ・介護職員の感染症対策
(合計時間数)		6	6	

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携		
指導目標	介護保険制度や障がい者自立支援制度を理解し、その目的やサービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について把握し列挙できる。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
			講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	3	<講義内容> ・介護保険制度創設の背景と目的、動向 ・保険制度の基本的仕組み ・介護給付と種類 ・予防給付 ・要介護認定の手順  <講義内容> ・リハビリテーションの理念、意義、目的 ・施設における看護と介護の役割・連携  <講義内容> ・障がい福祉の理念 ・ICF（国際生活機能分類） ・障がい者総合支援制度の基礎的理解 ・個人情報保護法 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業
② 医療との連携とリハビリテーション	3	3	
③ 障がい者総合支援制度およびその他の制度	3	3	
(合計時間数)	9	9	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は、一人ひとり異なること、またその違いを踏まえコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。 また、介護におけるチームコミュニケーションの技術の取得、記録や報告書などの、目的や留意点について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		<講義内容> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・利用者の心理の理解 ・コミュニケーションの技法
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		<講義内容> ・記録における情報の共有化 ・報告・連絡・相談の留意点
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	テキスト・DVD視聴
------------	------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や、疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこととからだの変化と日常	4	4		<講義内容> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響
② 高齢者と健康	2	2		<講義内容> ・高齢者の疾病と、日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者の介護をする際の判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1		<講義内容> ・認知症ケアの理念
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		<講義内容> ・認知症の概念 ・認知症の原因疾患とその病態
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	2		<講義内容> ・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・認知症の中核症状、周辺症状及び、行動、心理症状 ・認知症の人とのコミュニケーション
④ 家族への支援	1	1		<講義内容> ・認知症の家族介護者の現状の理解 ・家族のレスパイトケアについて
(合計時間数)	6	6		
使用する機器・備品等	テキスト			

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

# シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念と、ICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的考え方について理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	1		<講義内容> ・ 障がいの概念 ・ ICFの考え方 ・ 障がい者福祉の基本理念（ノーマライゼーション）
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		<講義内容> ・ 障がいの医学的側面、心理、行動の特徴とかかわり支援の基礎知識 ・ 視覚障がい、 ・ 言語・聴覚・平衡機能障がい ・ 身体障がい、内部障がい ・ 知的障がい ・ 精神障がい ・ 高次脳障がい ・ 発達障がい
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		<講義内容> ・ 家族の心理、かかわり、支援
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



### シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(9) ア こころとからだのしくみと生活支援技術（基本知識の学習）			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	3		<講義内容> ・倫理に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護  <演習の実施方法> グループワーク等で理解を深める。
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.5	3.5		<講義内容> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因  <演習の実施方法> グループワーク等で理解を深める。
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6.5	6.5		<講義内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識 ・中枢神経系と生体神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識  <演習の実施方法> グループワーク等で理解を深める。
(合計時間数)	13	13		

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(9) イ ころとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・演習）			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④ 生活と家事	3	3		<講義内容> ・生活と家事 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援  <演習の実施方法> グループワーク等で理解を深める。
⑤ 快適な居住環境整備と介護	4	4		<講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・高齢者、障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 ・福祉用具に関する基礎知識  <演習の実施方法> 実技演習、グループワーク等で理解を深める。 実技演習ではベッドや車いす等を活用し、多様な介護方法を学ぶ。
⑥ 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	6.5		<講義内容> ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術  <演習の実施方法> 実技演習ではグループワーク等で理解を深め、身体清潔の方法、口腔ケアの介護方法について学ぶ。
⑦ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	16.5	16.5		<講義内容> ・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗に関する用具とその活用方法 ・負担の少ない移動・移乗と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援  <演習の実施方法> 実技演習では寝返り・起き上がり・ベッド上での移動・衣服着脱・移乗・移動介助について学ぶ。
⑧ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4		<講義内容> ・食事にに関する基礎知識 ・食事環境の整備と関連した・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ ・食事と社会参加の留意点と支援  <演習の実施方法> 実技演習、グループワーク等で理解を深める。実技演習では食事摂取方法や食事介助技術をベッドなど使用しながら学びます。

⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔を保つことの意義と目的</li> <li>・入浴用具と整容用具の活用方法</li> <li>・楽しい入浴を阻害する要因と支援方法</li> </ul> <p>&lt;演習の実施方法&gt;</p> <p>実技演習、グループワーク等で理解を深める。実技演習では洗髪や足浴などの体験、また入浴では、多様な入浴介助技術について学びます。</p>
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する基礎知識</li> <li>・排泄環境の整備と用具の活用方法</li> <li>・爽快な排泄を阻害する要因と支援方法</li> </ul> <p>&lt;演習の実施方法&gt;</p> <p>実技演習、グループワーク等で理解を深める。実技演習では排泄用具を活用しながら、排泄介助技術について学ぶ。</p>
⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	2	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠に関する基礎知識</li> <li>・睡眠環境と用具の活用方法</li> <li>・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法</li> </ul> <p>&lt;演習の実施方法&gt;</p> <p>グループワーク等で理解を深める。実技演習ではベッドメイキングなどについて学ぶ。</p>
⑫ 死に行く人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期に関する基礎知識</li> <li>・「死」に向き合うこころの理解</li> <li>・苦痛の少ない死への支援</li> </ul> <p>&lt;演習の実施方法&gt;</p> <p>グループワーク等で理解を深める。</p>
(合計時間数)	52	52	

使用する機器・備品等	テキスト・ベッド・車椅子・浴槽・ポータブルトイレなど
------------	----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

# シラバス

指定番号 113

商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社

介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(9) ウ こころとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術演習）		
指導目標	他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護課程を展開、介護計画を立案し、適切な介護サービスが提供できる能力を養い、総合的に理解し、計画的・効率的に介護を実践する事の重要性を知る。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
			講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬ 介護課程の基礎的理解	3	3	<講義内容> ・介護課程の目的と意義、展開、チームアプローチ ・ご利用者への理解、基本姿勢  <演習の実施方法> グループワーク等で理解を深める。
⑭ 総合生活支援技術演習	7	7	
(合計時間数)	10	10	

使用する機器・備品等	テキスト
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 113  
 商号又は名称：京阪ライフサポート株式会社  
介護職員初任者研修講座（枚方校）

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	<b>【訪問介護サービス同行訪問】</b> 訪問介護サービスに同行し、基礎的な生活支援技術の習得を図る。 介護の現場・事業所の概要など、介護業務における基本的態度、根拠に基づく介護についての要点など、研修全体を振り返り学んだ事を再認識し、介護への理解を深める。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	1	1	/	<内容> ・研修を通して学んだこと（実習含む） ・根拠に基づく介護についての要点 （利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等） ・介護職の仕事内容や働く現場、事業所等における具体的なイメージ
②就業への備えと研修終了後における実例	3	3		
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。